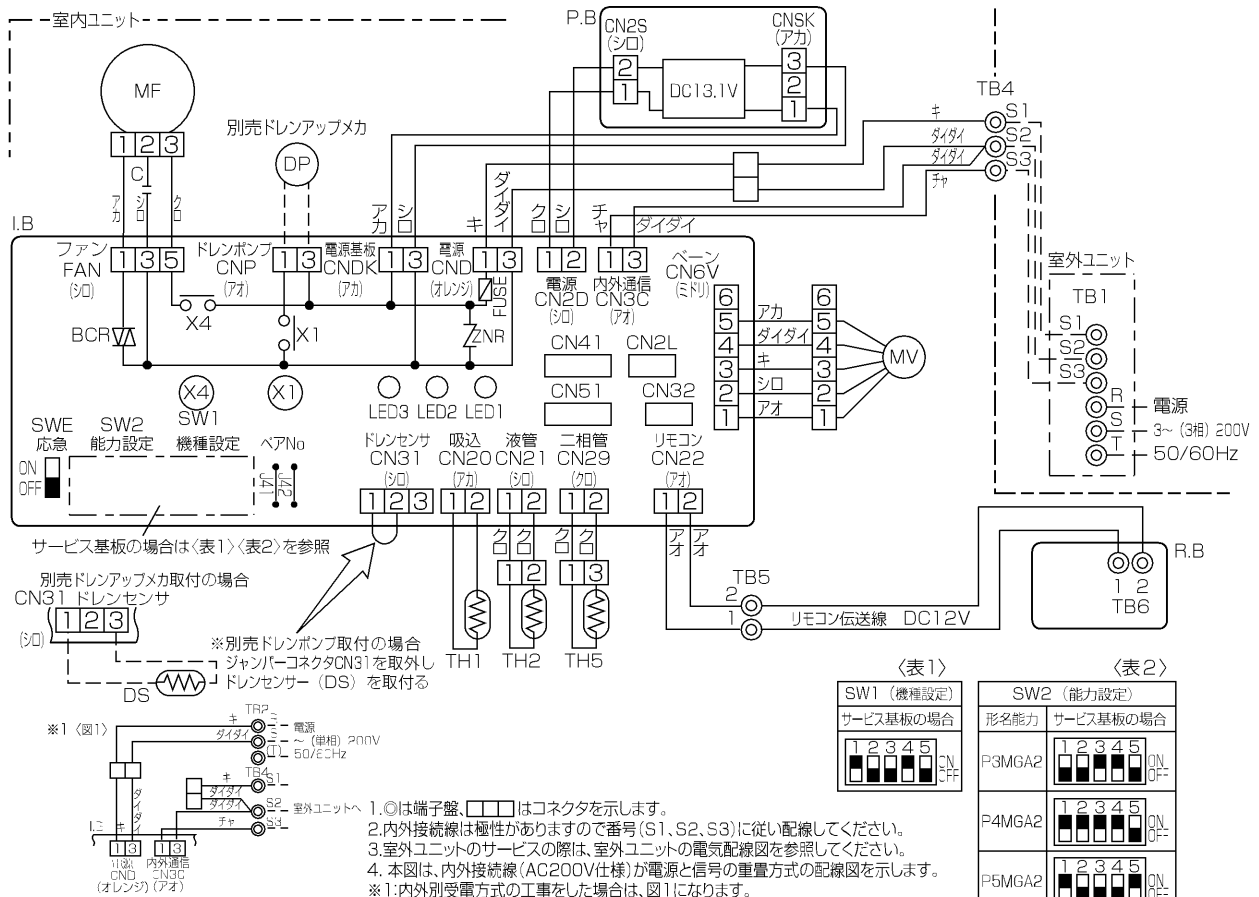


# PCZG-P3,4,5MGA2 電気配線図



## 【記号説明】

記号	名称	記号	名称	記号	名称
P.B	室内電源基板	SW1	スイッチ (機種設定<表1参照>)	TH1	サーミスタ (室内吸込温度検知) 0°C/15kΩ, 25°C/5.4kΩ
I.B	室内制御基板	SW2	スイッチ (能力設定<表2参照>)	TH2	サーミスタ (室内配管<液管>温度検知) 0°C/15kΩ, 25°C/5.4kΩ
FUSE	ヒューズ (6.3A)	ベアNo	ジャンパー線 (ワイヤレスベアナンバー設定)	TH5	サーミスタ (室内配管<二相管>温度検知) 0°C/15kΩ, 25°C/5.4kΩ
ZNR	バリスタ	SWE	コネクタ (応急運転)	R.B	ワイヤードリモコン
BCR	ファン制御素子	X4	リレー (送風機用電動機)		別売部品
CN2L	コネクタ (別売: ロスナイ、遠方表示キット)	C	コンデンサ (送風機用電動機)	DP	ドレンアップメカ
CN32	コネクタ (別売: 遠方発停アダプタ)	MF	送風機用電動機	CNP	コネクタ (ドレンアップメカ)
CN41	コネクタ (JEMA標準HA端子-A)	MV	ペーン用電動機	CN31	コネクタ (ドレンセンサー)
CN51	コネクタ (集中管理)	TB1	端子盤 (室外: 電源及び内外接続線)	DS	ドレンセンサー
LED1	発光ダイオード (マイコン電源)	TB2	端子盤 (室内: 電源 (別売))		
LED2	発光ダイオード (リモコン給電)	TB4	端子盤 (室内: 内外接続線)		
LED3	発光ダイオード (室内外通信)	TB5, TB6	端子盤 (リモコン伝送線)		
X1	リレー (別売ドレンアップメカ)				

## 【自己診断】

1. ワイヤードリモコンの場合、リモコンの「点検」スイッチを連続して2度押し、室外ユニットは自己診断モードとなり、過去に発生した点検コードを液晶表示します。点検コードと不具合内容は右表をご覧ください。

点検コード	不具合内容	点検コード	不具合内容
P1	吸込センサー異常	E0~E5	リモコン-室内ユニット間の通信異常
P2	配管 (液管) センサー異常	E6~EF	室内ユニット-室外ユニット間の通信異常
P4	ドレンセンサー異常	Fb	室内制御基板異常
P5	ドレンオーバーフロー保護作動	U*, F*	室外ユニットの不具合
P6	凍結/過昇保護作動	(※は英数字)	室外ユニットの電気配線図を参照してください
P8	配管温度異常	----	異常履歴なし
P9	配管 (二相管) センサー異常	F F F F	該当ユニットなし

## 【応急運転】

- ワイヤードリモコンまたは室内ユニットのマイコンが故障したとき、他に不具合箇所がなければ室内制御基板の応急切換コネクタ (SWE) を ON 側に設定すると、室内ユニットの応急運転となります。  
応急運転中の室内ユニットは以下の運転状態となります。  
(1) 室内ファン強風運転 (2) ドレンアップメカ運転 (別売)
- 冷房または暖房の応急運転を行なう場合、室内制御基板のコネクタ (SWE) 設定と室外ユニットの応急運転が必要です。  
室外ユニットの応急運転方法については室外ユニットの電気配線図を参照してください。
- 応急運転を行なうときの確認項目と注意事項  
(1) 以下の場合、応急運転はできません。  
・室外ユニットに異常がある場合  
・室内送風機に異常がある場合  
・自己診断でドレンオーバーフロー保護作動を検知したとき (別売ドレンアップメカ)  
(2) 応急運転は電源発停による連続運転となります。リモコンでの ON/OFF または 温度等は作動しません。  
(3) 暖房応急運転中に室外ユニットが霜取運転を開始すると冷風を吹出しますので長時間の運転はしないでください。  
(4) 冷房応急運転は最長 10 時間以内とさせていただきます。室内ユニットの熱交換器が凍結する恐れがあります。  
(5) 応急運転終了後はコネクタ設定等を元の状態に戻してください。  
(6) 応急運転時は、ペーン動作しないために手動でゆっくり適切な位置に設定してください。